

防潮堤の設置にかかる地質調査の状況について

平成24年1月26日
北海道電力株式会社

平成23年11月21日から平成24年1月23日まで、発電所敷地のボーリング調査を実施しました。

現在は、採取したサンプルによる室内試験を行なっているところです。



発電所敷地前面（堀株側）ボーリング状況



発電所敷地前面（中央部）ボーリング状況

【参考：防潮堤の設置計画】

泊発電所では、すべての交流電源などを喪失した場合においても、炉心および使用済燃料を冷却し健全性を維持できるよう、電源や冷却水の確保などの「緊急安全対策」を実施済みです。現在、更なる安全性・信頼性の向上のため、「中長期対策」を計画的に進めています。

これらの対策に加えて、皆さまにご安心していただけるよう、防潮堤を以下のとおり設置します。

- ・浸水高さ海拔15mの津波が襲来しても敷地への浸水を防止するため、高さ海拔15m以上*の防潮堤を敷地海岸部の全長約1.7kmにわたり設置します。
- ・防潮堤の設置により安全確保に万全を期すとともに、発電設備全体の健全性を維持できることから、発電所が運転できない状況となることも回避できます。（平成26年度完成目途）

※：防潮堤の高さは、今後の詳細設計において決定します。

（平成23年11月16日公表済み）

[設置イメージ]

